

おおむかしりつ
しぜんし
はくぶつかん 小学生



おまけシート

なぞのどうぶつ



ほんかん
本館・だい 2 てんじ室 まんなかのコーナー

がっこう

ねん

くみ

なまえ



ボクのなまえは
デズモスチルス。
おおむかしの、なぞのいきものさ。
うみにすんでいたの？
りくにすんでいたの？
まだまだ なぞがいっぱい。
キミならボクに
どんな色をぬる？


※あくまで目安です。

先生の 10分 知識

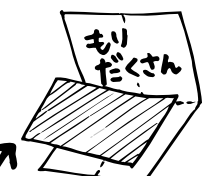
博物館に来る前に、あれこれ想像して記入すると、展示がもっと楽しくなるおまけシート。ここでシートの答えや話ネタをご紹介します。

おまけシートの
ついでに

きろくカードと
さしかえてコピーしたら
1枚ですっきり!



or



はさみこんで使ったら
もりだくさんメニュー!

対象学年	低学年
事前の記入	いる
展示室での記入	いりません

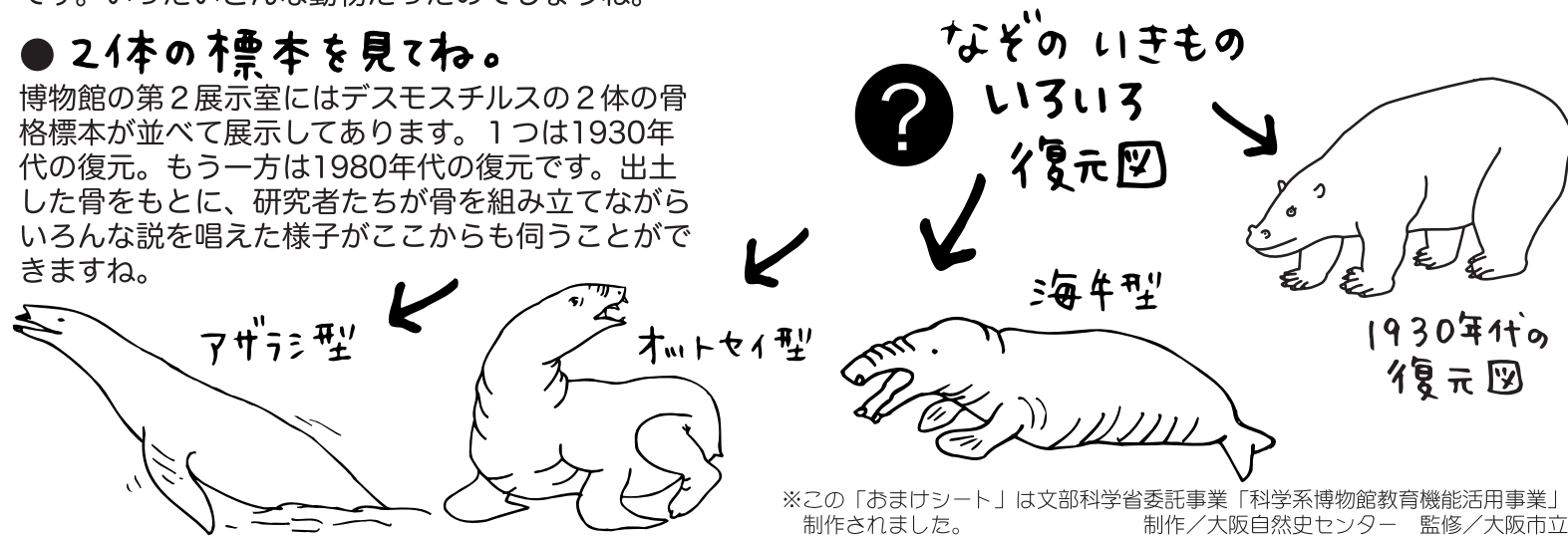
※混雑時は館内でのおまけシートのご利用をご遠慮いただく場合があります。利用可能な時期につきましては事前に係員にお問い合わせ下さい。

● デスモスチルスって？

デスモスチルスという化石ほ乳類はナゾに包まれています。日本列島、カムチャッカ、北アメリカの中新世（約1500万年前）の地層から見つっていますが、のり巻きを束にしたようなとても変わった形の奥歯をもっています（これも展示してあります）。いつも海にたまった地層から掘り出されるのでどんなケモノだったのか大勢の人が研究し、いろいろな意見がだされてきました。今まで陸上も歩くし海も泳ぐという説や、ほとんど海の中にすんでいたという説もありました。最近（1980年代以降）の研究では、よく海に入るけれど表の絵のような姿勢で陸上も歩いていたのでは？といわれています。でも、ふつうのケモノとちがって4本の足が体から横向きにでていう、尻尾のないワニみたいなちょっと格好の悪い姿に復元されてるのです。いったいどんな動物だったのでしょね。

● 2体の標本を見てね。

博物館の第2展示室にはデスモスチルスの2体の骨格標本が並べて展示してあります。1つは1930年代の復元。もう一方は1980年代の復元です。出土した骨をもとに、研究者たちが骨を組み立てながらいろんな説を唱えた様子がここからも伺うことができますね。



※この「おまけシート」は文部科学省委託事業「科学系博物館教育機能活用事業」の一環として制作されました。制作/大阪自然史センター 監修/大阪市立自然史博物館